



2023年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年1月31日

上場会社名 日進工具株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6157 URL <https://www.ns-tool.com>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 後藤 弘治
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画室長兼管理部長 (氏名) 戸田 覚 TEL 03-6423-1135
 四半期報告書提出予定日 2023年2月10日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第3四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	7,360	1.1	1,663	△0.6	1,653	△3.1	1,120	△5.2
2022年3月期第3四半期	7,279	24.8	1,673	79.4	1,707	52.0	1,181	55.4

(注) 包括利益 2023年3月期第3四半期 1,197百万円 (△0.2%) 2022年3月期第3四半期 1,200百万円 (59.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	44.93	44.54
2022年3月期第3四半期	47.23	46.83

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第3四半期	18,163	16,873	91.7	667.41
2022年3月期	17,874	16,165	89.2	640.58

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 16,657百万円 2022年3月期 15,950百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	-	10.00	-	12.50	22.50
2023年3月期	-	10.00	-		
2023年3月期（予想）				12.50	22.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,370	△1.6	1,790	△15.2	1,790	△17.0	1,210	△20.5	48.56

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。詳細は、添付資料7ページ「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料7ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2023年3月期3Q	25,035,034株	2022年3月期	25,035,034株
2023年3月期3Q	75,866株	2022年3月期	135,138株
2023年3月期3Q	24,930,626株	2022年3月期3Q	25,020,587株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としております。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(会計方針の変更)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症に関わる行動制限緩和が進み、経済活動は徐々に正常化へと向かいました。しかしながら、ロシアのウクライナ侵攻や日米金利差等を要因とした円安、資源価格やエネルギー価格の高騰もあり、先行きは不透明な状況となっております。

当社グループ製品の主要需要先の状況といたしましては、自動車関連は半導体や部品不足が解消せず、生産台数の減少が続いており、回復が遅れています。一方、半導体や電子・デバイス関連は、活況となっていたスマートフォンやPC関連等の巣ごもり需要には落ち着きがみられましたが、概ね堅調に推移しました。

このような環境のなか当社グループでは、物価上昇によるコスト増に対処すべく、内製化推進をはじめとした製造現場でのより一層のコスト削減に努めました。しかしながら、自助努力での価格維持が困難な状況となったことから増加コストの一部を価格転嫁することとし、他社の動向を踏まえ、11月受注分から主要製品の値上げを実施いたしました。なお、値上げ前には一部駆け込み需要も見られました。

営業面では、展示会への出展を通じ、様々なニーズに応える工具提案により新たなユーザーの開拓に努めました。11月には4年ぶりに実開催となった国内最大の工作機械見本市「JIMTOF2022」に出展いたしました。

製品面では、高硬度鋼高精度加工用4枚刃ロングネックラジラスエンドミル「MHRSH430RSF」や鏡面仕上げ用PCDボールエンドミル「PCDRB」の規格追加等、ラインアップの充実を行いました。

生産面では、仙台工場を中心に効率化やコスト削減のため「日進工具グループが将来に向けて挑戦する改善活動」である「オレンジFC」に加え、更なるコスト削減を目的とした活動も開始いたしました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は7,360百万円（前年同期比1.1%増）、営業利益は1,663百万円（同0.6%減）、経常利益は1,653百万円（同3.1%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,120百万円（同5.2%減）となりました。

製品区分別の売上高では、「エンドミル（6mm以下）」が5,738百万円（前年同期比0.7%増）、「エンドミル（6mm超）」が666百万円（同2.3%減）、「エンドミル（その他）」が410百万円（同6.8%増）、「その他」が544百万円（同5.5%増）となりました。

（注）報告セグメントが1つでありますので、製品区分別に記載しております。なお「その他」の事業セグメントは、製品区分別の「その他」に含めております。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の財政状態は、前連結会計年度末と比較して資産合計は289百万円増加し18,163百万円となりました。これは主に、原材料の増加等によるものであります。

また、負債は前連結会計年度末と比較して418百万円減少し、1,289百万円となりました。これは主に、未払法人税等の支払や賞与引当金の減少等によるものであります。

純資産は前連結会計年度末と比較して、利益剰余金の増加等により707百万円増加し16,873百万円となりました。なお、当第3四半期連結会計期間末の自己資本比率は91.7%となっております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の通期業績予想につきましては、2022年10月31日に公表いたしました業績予想に変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,543,254	8,578,405
受取手形及び売掛金	1,322,918	1,377,286
商品及び製品	1,191,205	1,241,122
仕掛品	304,224	272,203
原材料及び貯蔵品	345,547	553,011
その他	100,391	81,448
流動資産合計	11,807,542	12,103,477
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,674,457	2,576,360
機械装置及び運搬具(純額)	1,716,992	1,501,814
土地	800,483	800,483
建設仮勘定	66,367	438,181
その他(純額)	176,813	140,698
有形固定資産合計	5,435,114	5,457,538
無形固定資産	32,663	27,381
投資その他の資産		
投資有価証券	50,765	28,290
繰延税金資産	412,829	407,522
その他	135,271	139,317
投資その他の資産合計	598,865	575,130
固定資産合計	6,066,644	6,060,050
資産合計	17,874,187	18,163,527

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	249,230	274,092
未払法人税等	445,948	146,823
賞与引当金	241,481	126,632
役員賞与引当金	102,034	65,724
その他	444,576	451,744
流動負債合計	1,483,270	1,065,016
固定負債		
長期未払金	224,952	224,952
固定負債合計	224,952	224,952
負債合計	1,708,222	1,289,968
純資産の部		
株主資本		
資本金	455,330	455,330
資本剰余金	418,223	418,223
利益剰余金	15,271,863	15,813,695
自己株式	△200,791	△112,713
株主資本合計	15,944,625	16,574,536
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,532	4,802
為替換算調整勘定	2,171	78,585
その他の包括利益累計額合計	5,704	83,388
新株予約権	215,634	215,634
純資産合計	16,165,964	16,873,558
負債純資産合計	17,874,187	18,163,527

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
売上高	7,279,962	7,360,585
売上原価	3,498,973	3,418,957
売上総利益	3,780,989	3,941,627
販売費及び一般管理費	2,107,418	2,278,451
営業利益	1,673,571	1,663,176
営業外収益		
受取利息	35	37
受取配当金	743	863
助成金収入	19,020	1,412
作業くず売却益	11,816	13,037
保険解約返戻金	13,430	-
その他	2,605	8,215
営業外収益合計	47,650	23,566
営業外費用		
為替差損	12,429	26,534
その他	1,275	6,373
営業外費用合計	13,705	32,908
経常利益	1,707,516	1,653,834
特別利益		
固定資産売却益	1,326	1,848
特別利益合計	1,326	1,848
特別損失		
固定資産売却損	2,083	-
固定資産除却損	650	381
投資有価証券評価損	-	24,289
特別損失合計	2,733	24,671
税金等調整前四半期純利益	1,706,109	1,631,010
法人税等	524,462	510,952
四半期純利益	1,181,646	1,120,058
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,181,646	1,120,058

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益	1,181,646	1,120,058
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	178	1,269
為替換算調整勘定	18,609	76,414
その他の包括利益合計	18,787	77,684
四半期包括利益	1,200,434	1,197,742
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,200,434	1,197,742
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当社及び一部の子会社について、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。